

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 9月 3日

横浜地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 岡 村 乾

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年10月 6日から 令和 8年10月13日 午後 5時00分まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 8年10月20日 午前10時00分 横浜地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 8年11月 2日 午後 1時10分 横浜地方裁判所第3民事部
特別売却 実施期間	令和 8年10月26日 午前10時00分から 令和 8年10月26日 午後 3時00分まで	
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所所定の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、株式会社商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。	
買受申出の資格の 制限（民事執行規則33条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。	
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和8年 9月 3日から当庁物件明細等閲覧室に備え置きます。		



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 7 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～3	17,860,000 14,288,000	一括	3,572,000	68,294	17,971
1	690,000				
2	5,120,000				
3	12,050,000				



物 件 目 録

- 1 所 在 藤沢市石川字稻荷山
地 番 2761 番 8
地 目 宅地
地 積 115.50 平方メートル

(現況)

地 目 公衆用道路

共有者 A 持分 2 分の 1

- 2 所 在 藤沢市石川字稻荷山
地 番 2761 番 7
地 目 宅地
地 積 196.67 平方メートル

所有者 A

- 3 所 在 藤沢市石川字稻荷山 2761 番地 7
家屋 番号 2761 番 7
種 類 居宅
構 造 木造スレート葺 2 階建
床 面 積 1 階 57.96 平方メートル
2 階 56.72 平方メートル

(現況)

床 面 積 1 階約 65.46 平方メートル
2 階. 56.72 平方メートル

所有者 A



物 件 明 細 書

令和 8年 7月 3日

横浜地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 岡 村 乾

1 不動産の表示

【物件番号1～3】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1～3】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号3】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等が全て本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」を御覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

- 1 所 在 藤沢市石川字稻荷山
地 番 2761番8
地 目 宅地
地 積 115.50平方メートル
(現況)
地 目 公衆用道路
共有者 A 持分2分の1
- 2 所 在 藤沢市石川字稻荷山
地 番 2761番7
地 目 宅地
地 積 196.67平方メートル
所有者 A
- 3 所 在 藤沢市石川字稻荷山2761番地7
家屋 番号 2761番7
種 類 居宅
構 造 木造スレート葺2階建
床 面 積 1階 57.96平方メートル
2階 56.72平方メートル
(現況)
床 面 積 1階約65.46平方メートル
2階 56.72平方メートル
所有者 A

令和 8 年(ケ)第 58 号
令和 8 年 4 月 6 日受理
令和 8 年 6 月 1 日提出

現況調査報告書

横浜地方裁判所

執行官 小早川 健 造

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 藤沢市石川字稻荷山
地 番 2761番8
地 目 宅地
地 積 115.50平方メートル

共有者 A 持分2分の1

2 所 在 藤沢市石川字稻荷山
地 番 2761番7
地 目 宅地
地 積 196.67平方メートル

所有者 A

3 所 在 藤沢市石川字稻荷山2761番地7
家屋 番号 2761番7
種 類 居宅
構 造 木造スレート葺2階建
床 面 積 1階 57.96平方メートル
2階 56.72平方メートル

所有者 A

(土地・建物用)

不動産の表示	「物件目録」のとおり			
住居表示	(住居表示未実施)			
土地	物件1・2			
現況地目	☒ 宅地(物件2) ☒ 公衆用道路(物件1) ☐ 雑種地(物件)			
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり			
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者A ☐ その他の者 1 上記の者が物件1土地を他の共有者とともに公衆用道路として占有している 2 上記の者が物件2土地に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり			
下記以外の建物(目的外建物)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)			
その他の事項				
建物	物件3			
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点異なる(☒ 主たる建物 ☐ 附属建物) ☐ 種類: ☐ 構造: ☒ 床面積: 1階 約65.46㎡			
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある 種類: 構造: 床面積:			
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者A ☐ その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり			
上記以外の敷地(目的外土地)	☒ ない ☐ ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)			
その他の事項				
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある [地方裁判所 保管開始日 支部 年 月 日 年()第 号			
土地建物の位置関係	☐ 建物図面(各階平面図)のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり			

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ A (所有者)	1 (1) 本件建物は、私が妻と子供とともに居宅として使用しています。 (2) 他人には貸していません。 (3) 私は、日々本件建物で生活しているわけではありませんが、玄関の鍵も管理していますので、今も本件建物に居住しています。 (4) 表札に私の姓のほかにある姓は、娘の姓ですので、他人が住んでいるわけではありません。 (5) 犬を2匹飼っています。 2 (1) 本件建物は、築後約26年経過しています。築後1年くらい経過したときに、サンルームを増築しました。これは私が日曜大工で施工しました。それ以外、増改築はしていません。 (2) 雨漏りや水漏れはありません。排水の詰まりもありません。 (3) 壁面については犬のひっかき傷や穴空きが多少あると思います。 (4) 床については、緩みはありません。傾斜も感じません。 (5) 屋根裏収納はありません。 (6) ソーラーパネルはありません。 (7) 上空を米軍機が飛ぶので、上空を通過するときには大きな音がします。 3 (1) 本件土地（物件1・2）の境界について、隣接地との間に争いはありません。 (2) 物件1土地は南東側隣接地（2761番-15）の方と共有していて、道路として使用していますが、特に約束事はありません。 (3) 物件2土地の北東側隣接地（2766番-1，2761番-9）は大きく傾斜している土地なので、物件2土地は土留めをしてあると聞いています。でも、物件2土地と南東側隣接地との境界部分に低いブロック塀がありますが、その塀の北東側隣接地付近に、ひび割れが生じています。それに、以前、南東側隣接地にお住まいになっていた方はその土地が傾斜していると言っていました。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

- 1 (1) 本件建物には、現場の状況及び所有者Aの陳述からして、第三者の占有徴表は認められない。
(2) よって、本件建物は、前記のとおり所有者Aが居宅として使用しているものと認める。
- 2 (1) 本件建物については、壁面及びクローゼットのドアに穴空きが数か所で認められ、犬のひっかけ傷も数か所で認められた。その他、ドアの戸当たり部分に損傷が認められるなど、全体として経年使用等による汚損・劣化の状況が認められた。
(2) 本件建物は、北東側に若干傾斜している恐れがあるものと思われる。
- 3 (1) 物件1土地は、現場の状況及び課税上の取扱いからして、現況は公衆用道路と認める。
(2) 物件2土地は、北東側に若干傾斜している恐れがあるものと思われる。
(3) 物件2土地上に存するカーポートは、基礎が認められ、工作物と認める。
(4) 物件2土地上に存する物置は、基礎が無く、動産である。

以上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
8 年 4月13日 (月) 12:30-12:35	目的物件所在地	目的物件確認, 外観調査, 写真撮影, 不在, 通知書差入れ
8 年 4月15日 (水) 16:37-16:46	執行官事務室	所有者と通話 (事情聴取)
8 年 4月21日 (火) 10:55-11:00	目的物件所在地	外観調査, 写真撮影, 所有者の子と面談 (事情聴取, 通知書交付/連絡無し)
8 年 5月11日 (月) :-	通知書送付	所有者宛送付 (立入調査関係通知)
8 年 5月19日 (火) 13:50-14:20	目的物件所在地	建物立入調査, 外観調査, 写真撮影 所有者と面談 (占有等調査) [評価人同行]
年 月 日 () :-		
年 月 日 () :-		

(特記事項)

☐ 令和 年 月 日
目的物件が不在で施錠されている場合に備えて, 立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。

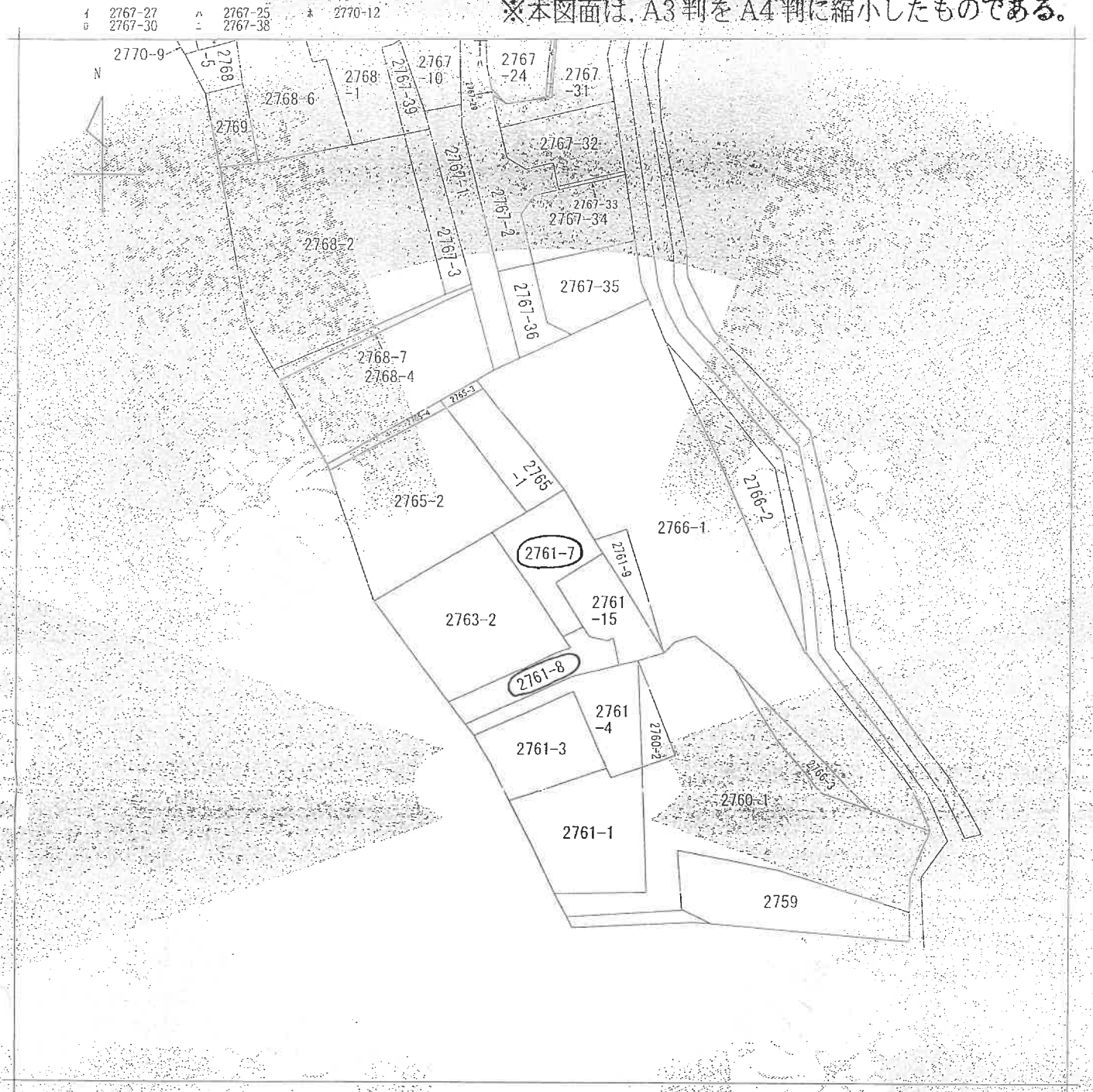
☒ 令和 8 年 5 月 1 9 日
目的物件は不在で施錠されていたので, 立会人Bを立ち合わせ, 技術者に解錠させて建物内に立ち入ったところ, 所有者が帰来してきたので, 以後, 同人立会いの下で調査を実施した。

☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。

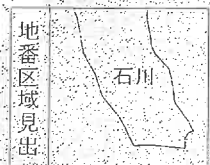
☐

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり

※本図面は、A3判をA4判に縮小したものである。



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。



請求部分	所在	藤沢市石川字稻荷山				地番	2761番7			
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面		種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

令和8年2月10日

横浜地方方法務局湘南支局

地図整理番号：M42979

登記官

(1/1)

(6 枚目)



登記年月日 平成27年7月12日

001623

各階平面図

建物図面
各階平面図

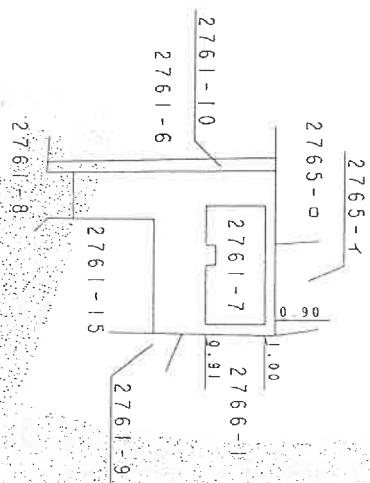
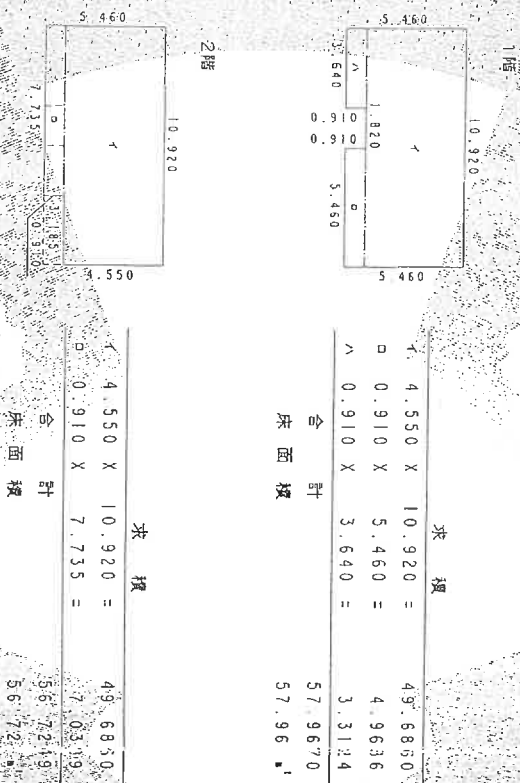
家屋番号	2761番7
建物の所在	藤沢市谷川茅相町山2761番地7

これは図面に記載されている内容と説明し、記載する。

令和8年2月10日 建築地方技術顧問南大前

※本図面は、A3判をA4判に縮小したものである。

登記官



作製者

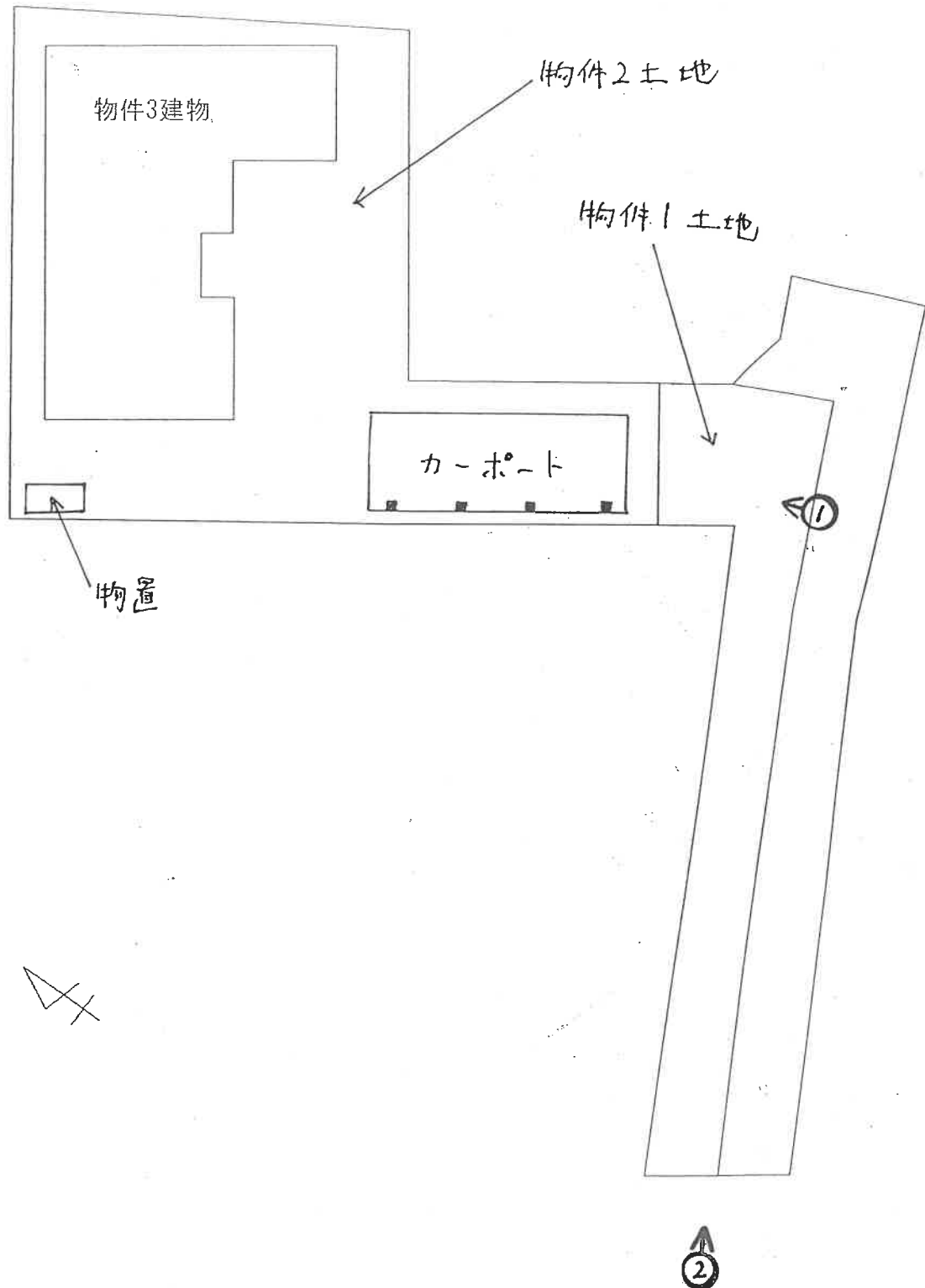
縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

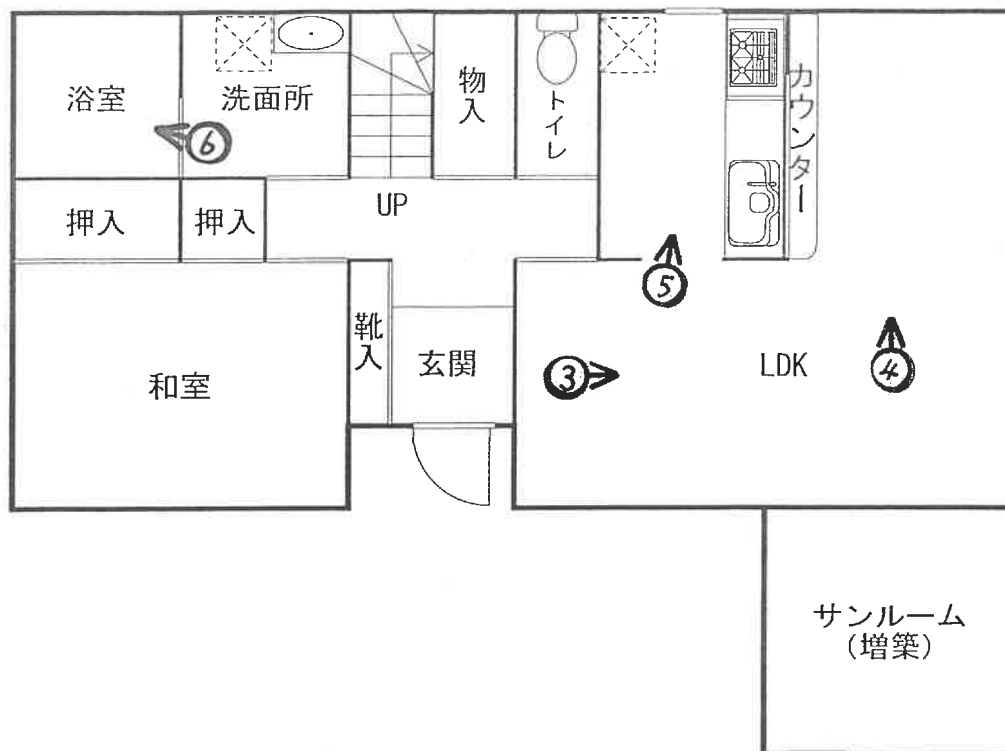
土地建物位置関係図

←○は写真撮影位置・方向

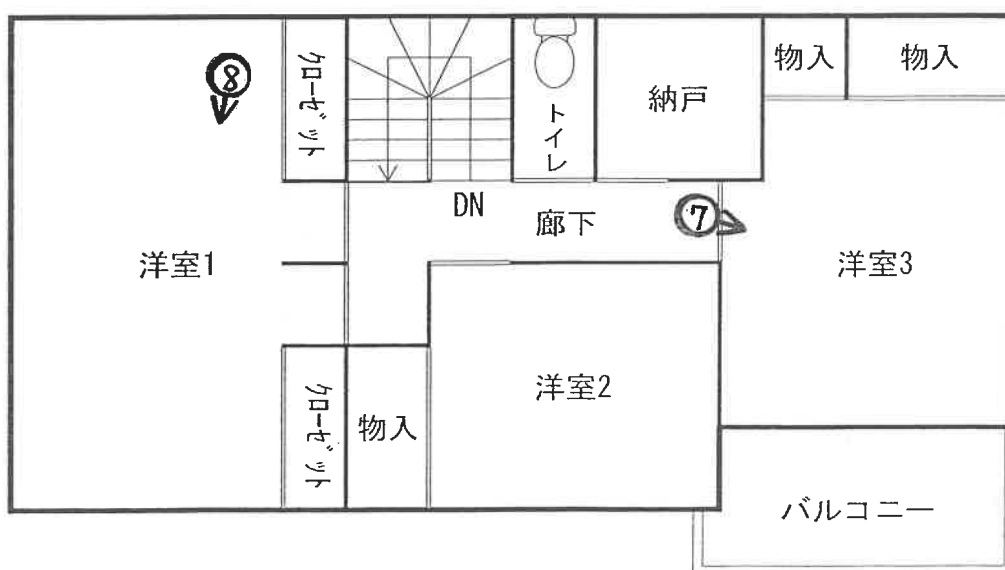


間取図

1 階



2 階



令和 8 年 (ケ) 第 5 8 号

◀○は写真撮影位置・方向

(9 枚目)

①

物件 2

物件 3



②

物件 1



③

物件 3



④



⑤



⑥



⑦



⑧



令和 8 年（ケ）第 58 号

令和 8 年 5 月 19 日 現地調査

令和 8 年 6 月 1 日 評価

横浜地方裁判所

評 価 書

評価人 不動産鑑定士

大野 健

第1 評価額

一括価格（合計）	
金17,860,000円	
内訳価格	
物件1（土地）	金690,000円
物件2（土地）	金5,120,000円
物件3（建物）	金12,050,000円

- ① 一括価格は、物件1 ～ 物件3 の各不動産について、一括売却（民事執行法第61条本文）を行う事を前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 物件2 の内訳価格は 物件3 のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件3 の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

1. 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約(売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は、内覧制度によるほかは物件の内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等)等の特殊性を反映させた価格とする。
2. 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については考慮していない。
3. 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
4. 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

物件 番号	登 記	現 況
1	次頁物件目録記載のとおり	地目 公衆用道路
2		物件3 1階：約65.46㎡ 2階：56.72㎡
3		
特 記 事 項		
特になし		

※現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じである。

物 件 目 録

1 所 在 藤沢市石川字稻荷山
地 番 2761番8
地 目 宅地
地 積 115.50平方メートル

共有者 A 持分2分の1

2 所 在 藤沢市石川字稻荷山
地 番 2761番7
地 目 宅地
地 積 196.67平方メートル

所有者 A

3 所 在 藤沢市石川字稻荷山2761番地7
家屋 番号 2761番7
種 類 居宅
構 造 木造スレート葺2階建
床 面 積 1階 57.96平方メートル
2階 56.72平方メートル

所有者 A

第4 目的物件の位置・環境等

1. 土地の概況及び利用状況等（物件1）

画 地 条 件 (規模、形状等)	幅約4m、長さ約26mの带状地。 地積 115.50㎡
土地の利用状況等	◇目的物件1は物件2の南東側で接続する専用通路である。 ◇目的物件1は、建築基準法の道路には該当しない。 ◇目的物件1は、南西側の幅員約5mの市道（建築基準法第42条1項道路）にほぼ等高に約4m接面している。 ◇目的物件1は共有されているが、建築計画概要書によると、目的物件1の幅員約4mのうち、半分の約2m（概要書上では2.015m）が市道に接道しており、接道要件を満たすことから、建築確認済証および検査済証も交付されている。 ◇目的物件1について、現況の地積に関する地積測量図が無く、現在の面積は平成12年6月に行われた合筆後の面積である。本件では建築計画概要書、現地調査、航空写真等から概ね地積は一致していると判断したが、縄伸び縄縮の可能性は否定できない。 ◇舗装私道であり、主に目的物件2および3の利用者または隣接する土地（2761番15）の利用者の通行の用に供されている道路として利用されている。 ◇物件1自体の幅員は約4mであるが、現況は南東側の隣接地（2761番4）の通路部分（幅約2m）と一体となり、見かけ上、幅約6mの舗装通路の一部となっている。
特 記 事 項	◇課税上、公共の用に供する道路として扱われており、非課税である。 ◇目的物件は共有されており、所有者Aの持分は2分の1である。 ◇公法上の規制は物件2と同じである。

2. 土地の概況及び利用状況等（物件2）

位 置 ・ 交 通	小田急江ノ島線「六会日大前」駅の南西方 約2km （道路距離） 最寄りバス停「石川中村」まで徒歩約 4 分 （附属資料「位置図」参照）	
付 近 の 状 況	一般住宅、アパート等が混在する住宅地域	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 （道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない 一般的な規制）	都 市 計 画 区 分	市街化区域 第一種住居地域 建 蔽 率 60% 容 積 率 200% 防 火 規 制 準防火地域 そ の 他 の 規 制 埋蔵文化財包蔵地（藤沢No.399） 宅地造成等工事規制区域
画 地 条 件	地 積	196.67㎡ 形 状 不整形 間 口 ・ 奥 行 間口 約4m、 奥行 約20 m 地 勢 接面道路と等高、画地内は平坦。
接面道路の状況	物件2は南東側の幅員約4mの専用通路（物件1、建築基準法第42条（道路）に該当しない）にほぼ等高に約4m接面している。 なお、物件1土地は、南西側の幅員約5mの市道（建築基準法第42条1項道路）にほぼ等高に約4m接面している。	
土地の利用状況等	物件3の建物敷地等として利用されている。 建物の配置は附属資料建物図面・各階平面図写のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道	あり
	都 市 ガ ス	なし（プロパンガスを使用）
	下 水 道	あり
特 記 事 項	◇目的物件2の北東側は崖地である。 ◇目的物件2土地は、北東側に若干傾斜している恐れがある。 ◇目的物件2の一部は家屋倒壊等氾濫想定区域に含まれる。 ◇平成12年に合筆されて現在の土地となったが、合筆後の地積測量図は無い。 ◇土地の地積について、建築計画概要書記載の敷地面積は255.99㎡であり、目的物件2の地積に目的物件1の持分を加算すると、概ね同等と考えられるため、登記事項証明書の地積は概ね正しいと考えられるものの、若干の縄伸び縄縮の可能性は否定できない。	

3. 建物の概況及び利用状況 (物件3)

区 分	主である建物	
建築時期及び経済的 残存耐用年数	建 築 年 月 日	平成12年6月30日
	経 過 年 数	約26年
	経済的残存耐用年数	約4年
仕 様	構 造	木造2階建
	屋 根	スレート葺
	外 壁	サイディング貼等
	内 壁	ビニールクロス貼等
	天 井	ビニールクロス貼等
	床	フローリング、畳、クッションフロア等
	設 備	トイレ×2、浴室、洗面所、キッチン、物入等
	そ の 他	特になし
床 面 積 (現 況)	1 階65.46㎡ 2 階56.72㎡ 延べ122.18㎡	
現 況 用 途 等	種 類	居宅
	間 取 り	4LDK+サンルーム
品 等	普通	
保守管理の状況	やや劣る	
建物の利用状況	令和8年5月19日：内部立入調査 建物所有者Aが占有している。	
特 記 事 項	◇1階サンルームは増築部分（Aによると、目的物件3が建築されてから約1年後にA自身によって増築した）であり、建物図面等に記載されていない。 ◇現地調査により、増築部分の床面積は約7.5㎡と試算し、登記事項証明書記載の1階部分の床面積57.96㎡に加算した。 ◇Aによると小型犬2匹を建物内部（主に1階）で飼育している。 ◇Aによると、建物の窓は二重窓となっている。 ◇2階の洋室2の壁に穴を確認した。他の壁は経年による傷や汚れ等も確認した。またドアにも穴や傷を確認した。 ◇2階の廊下および洋室3は北東方向に向かって若干傾斜している恐れがある。なお、床のゆるみや軋み等は見られなかった。	

第5 評価額算出の過程

1. 基礎となる価格

① 物件1（土地）

物件1は、道路として特定多数の通行の用に供されているので、当該土地の性格等を考慮して土地価格を求めた。

物件 番号	標準画地 価格(円/㎡)	道路 価値率	地積 (㎡)	共有持分割合	土地価格 (円)
1	169,000	× 0.10	× 115.50	× $\frac{1}{2}$	= 980,000

標準画地価格 : 標準画地価格は下記の規準価格を中心に、その他の価格資料等を斟酌して決定した。

地価公示地 藤沢44

$$\begin{array}{ccccccc} \text{地価公示地価格} & & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & & \text{標準画地価格} \\ 179,000\text{円/㎡} & \times & \frac{104}{100} & \times & \frac{100}{100} & \times & \frac{100}{110} = 169,000\text{円/㎡} \end{array}$$

◇時点修正率 : 令和8年1月1日 から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正 : 地価公示地は標準画地で補正の必要なし。

◇地域格差 : 地価公示地の所在地域は目的地域に比し交通接近条件、環境条件等の総合格差で上記のとおり。

◇道路価値率 : 10% と判定した。

② 物件2（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地 価格(円/㎡)	個別格差	更地価格 (円/㎡)	地積 (㎡)	建付減価	建付地価格 (円)
2	169,000	$\frac{70}{100}$	118,000	× 196.67	× 0.9	= 20,890,000

標準画地価格 : 「①のとおり」

◇個別格差 : 土地の形状が不整形である点、北東側に隣接する土地が崖地である点、埋蔵文化財包蔵地に該当する点はマイナス要因と判断した。また、地積測量図等が無く、軽微な縄伸び縄縮の可能性が有る点も考慮し、総合格差で上記のとおり。

◇建付減価 : 建付減価率を 10% と判定した

③ 物件3（建物）

（主である建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡)	現況延床面積 (㎡)	現価率	建物価格 (円)
3	270,000	× 122.18	× 0.11	= 3,630,000

現価率

- ・ 経過年数 26 年 経済的残存耐用年数 4 年 観察減価率 20%
- ・ 耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、
現価率を下記のとおり査定した。

$$\text{現価率} = \frac{\text{経済的残存耐用年数 } 4\text{年}}{\text{経過年数 } 26\text{年} + \text{経済的残存耐用年数 } 4\text{年}} \times (1 - 0.2) = 0.11$$

2. 評価額の判定

前記により求めた価格を基に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件番号	建付地価格 (円)	土地利用権等割合(注)		土地利用権等価格 (円)
2	20,890,000	× 0.65	法定地上権	= 13,580,000

(注)土地利用権等割合：土地利用権等を 法定地上権 と判定し、
その割合を 65% と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

物件番号	基礎となる価格 (円)	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円)	占有 減価 修正	市場性 修正	競売 市場 修正	その他の 控除	評価額 (円)
1	980,000	—		× 1.0	× 0.7		= 690,000
2	20,890,000	－ 13,580,000		× 1.0	× 0.7		= 5,120,000
3	3,630,000	＋ 13,580,000	× 1.0	× 1.0	× 0.7		= 12,050,000
一 括 価 格 (合 計)							17,860,000

占有減価修正 必要なし。

市場性修正 必要なし。

競売市場修正 ー30% と判定した。

その他の控除 必要なし。

第6 参考価格資料

1. 地価公示価格 藤沢44

所 在 : 藤沢市石川5丁目25番35外

価 格 : 179,000円/㎡

位 置 : 小田急江ノ島線「湘南台」駅 2.6km

価 格 時 点 : 令 和 8 年 1 月 1 日

地 積 : 182㎡

供給処理施設 : 水道、ガス、下水

接 面 街 路 : 西側 6m 市道

用 途 指 定 等 : 第一種住居地域 (建ぺい率 60%, 容積率 200%)
準防火地域

地 域 の 概 要 : 一般住宅、アパート等が混在する住宅地域

2. 固定資産税評価額 (令和 7 年度)

物件1 非課税

物件2 13,862,874円

物件3 2,567,726円

第7 附属資料の表示

位置図

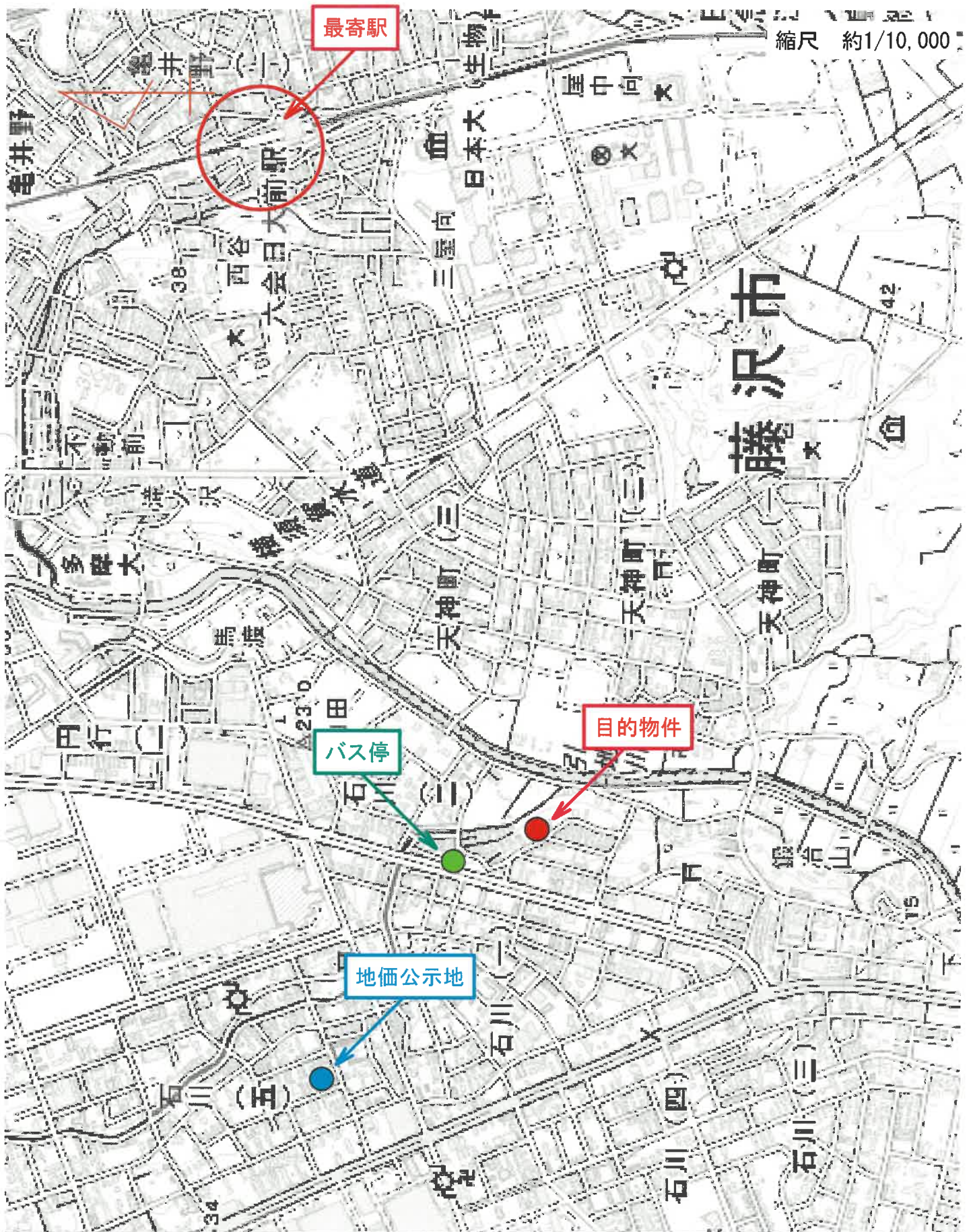
公図写 (目的物件をA4判へ抜粋したものである。)

建物図面・各階平面図写 (本図面はA3判からA4判へ縮小したものである。)

間取図

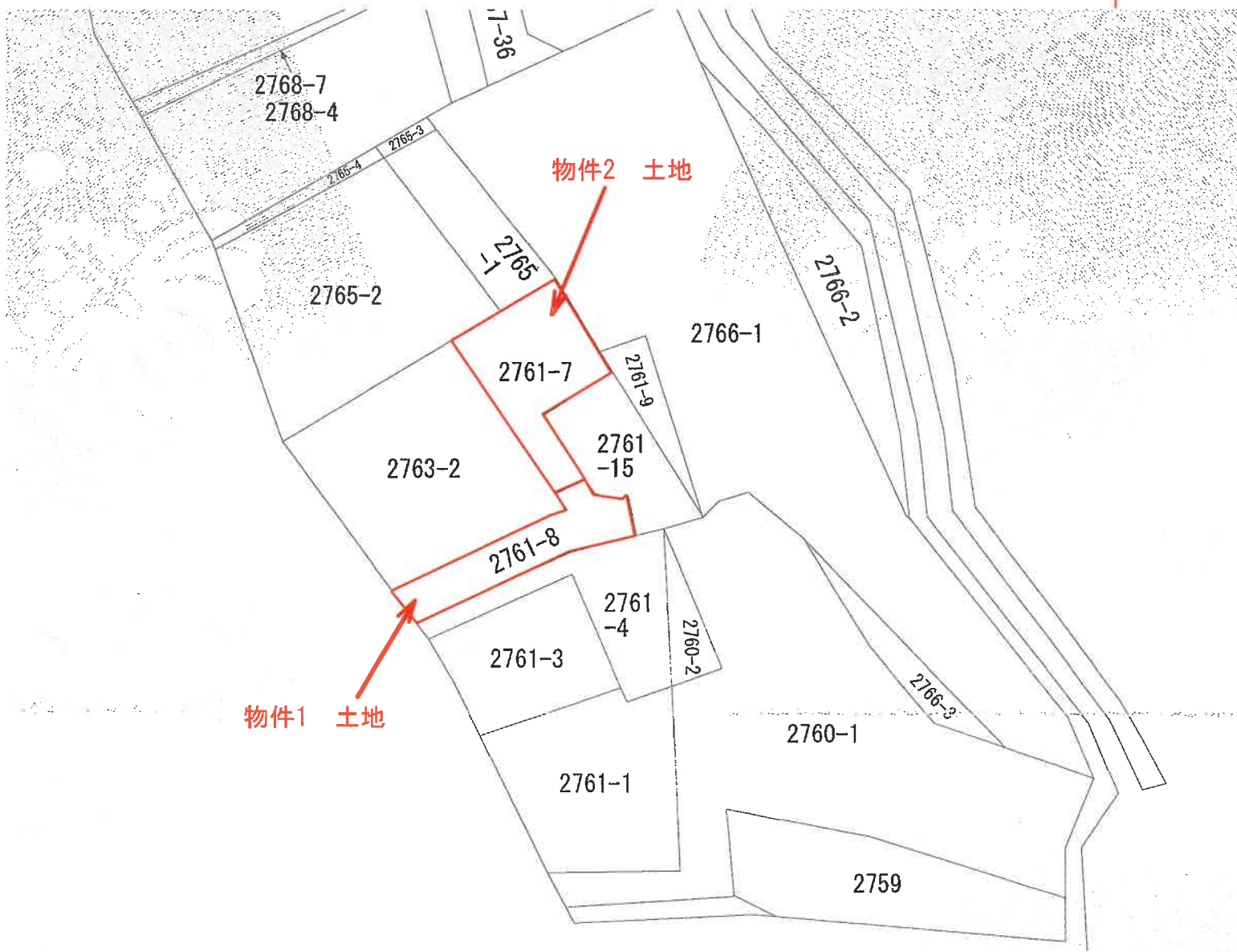
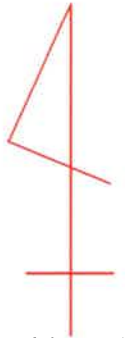
以上

位置図



公図(写)

縮尺 1/600



建物図面・各階平面図(写)

【本図面はA3判からA4判へ縮小したものである】

建物図面

家屋番号 2761番7

建物の所在 藤沢市石川字稻荷山2761番地7

各階平面図

001629

登記年月日：平成12年7月12日

これは図面に記録されている内容を証明した書面である。
令和8年2月10日 横浜地方方法務局湘南支局

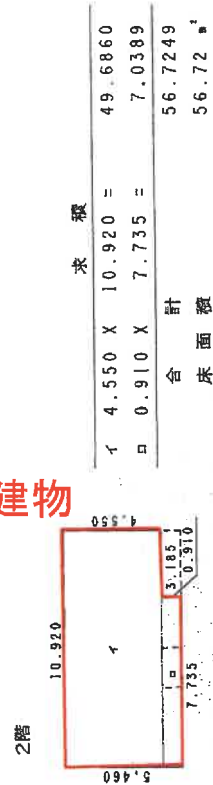
物件3建物

物件1土地

物件2土地



物件3建物



縮尺 1/500

申請人

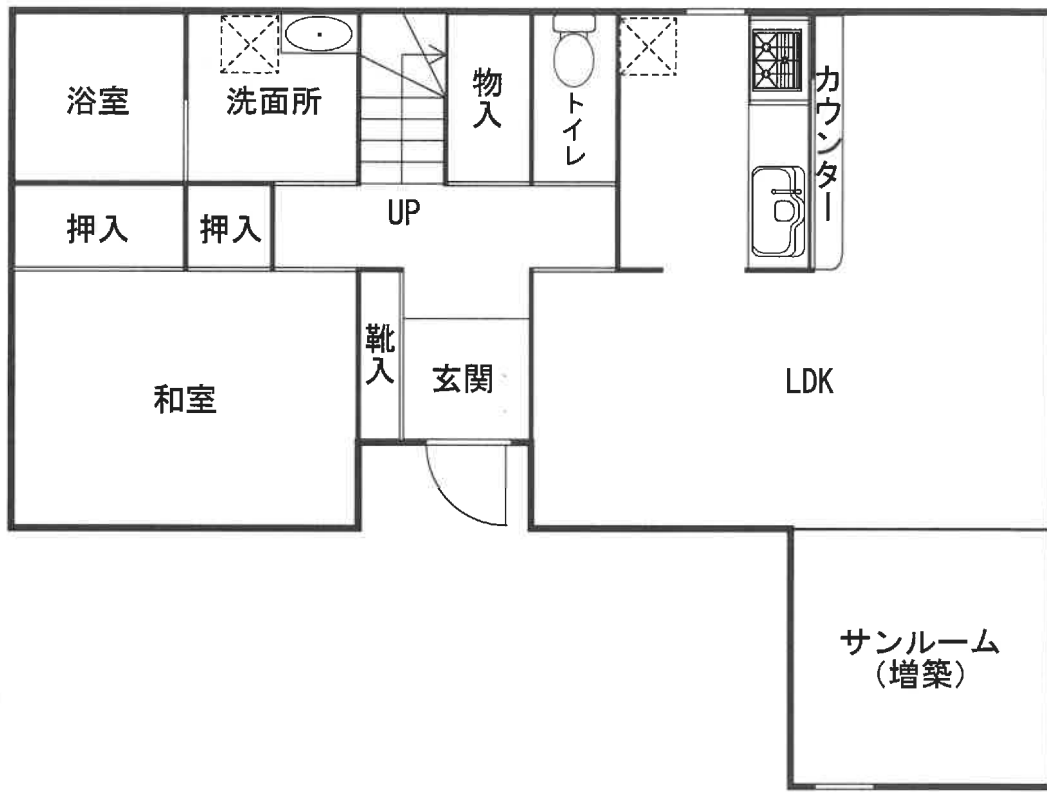
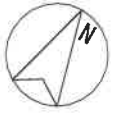
縮尺 1/250

作製者

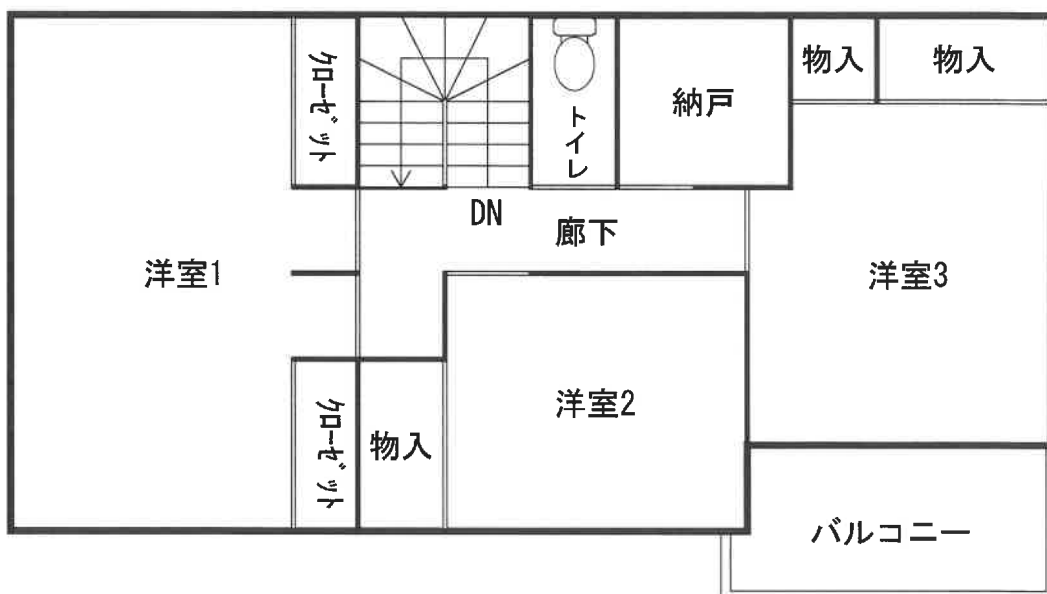
(日本土地家屋調査士会連合会用紙)

間取図

1 階



2 階



令和 8 年 (ケ) 第 5 8 号